

<対策のポイント>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減に相当する15万トンの米穀について、集荷団体と実需者等が連携して行う長期計画的な保管、中食・外食事業者等への販売促進や子ども食堂等の生活弱者への提供を支援することにより、需給の安定に向けた市場環境を整備します。

<事業目標>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている米穀の市場環境の整備

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 長期保管の支援

産地の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備するため、集荷団体と実需者等が市場に影響を与えないように連携して行う長期計画的な販売に伴う保管に係る経費等を支援します。

(補助率:定額)

2. 中食・外食事業者等への販売促進支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた中食・外食事業者等に対し、市場に影響を与えないように行う販売促進の取組を支援します。

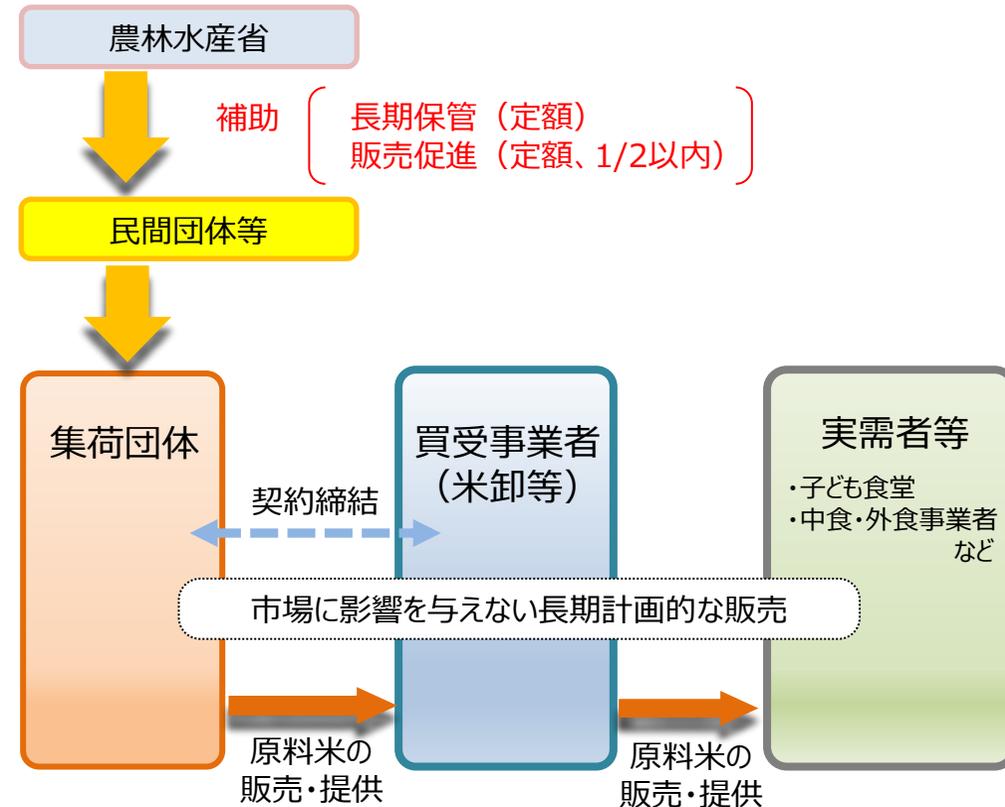
(補助率:1/2以内)

3. 生活弱者への提供支援

子ども食堂・子ども宅食等の生活弱者に対し、米を提供する取組を支援します。

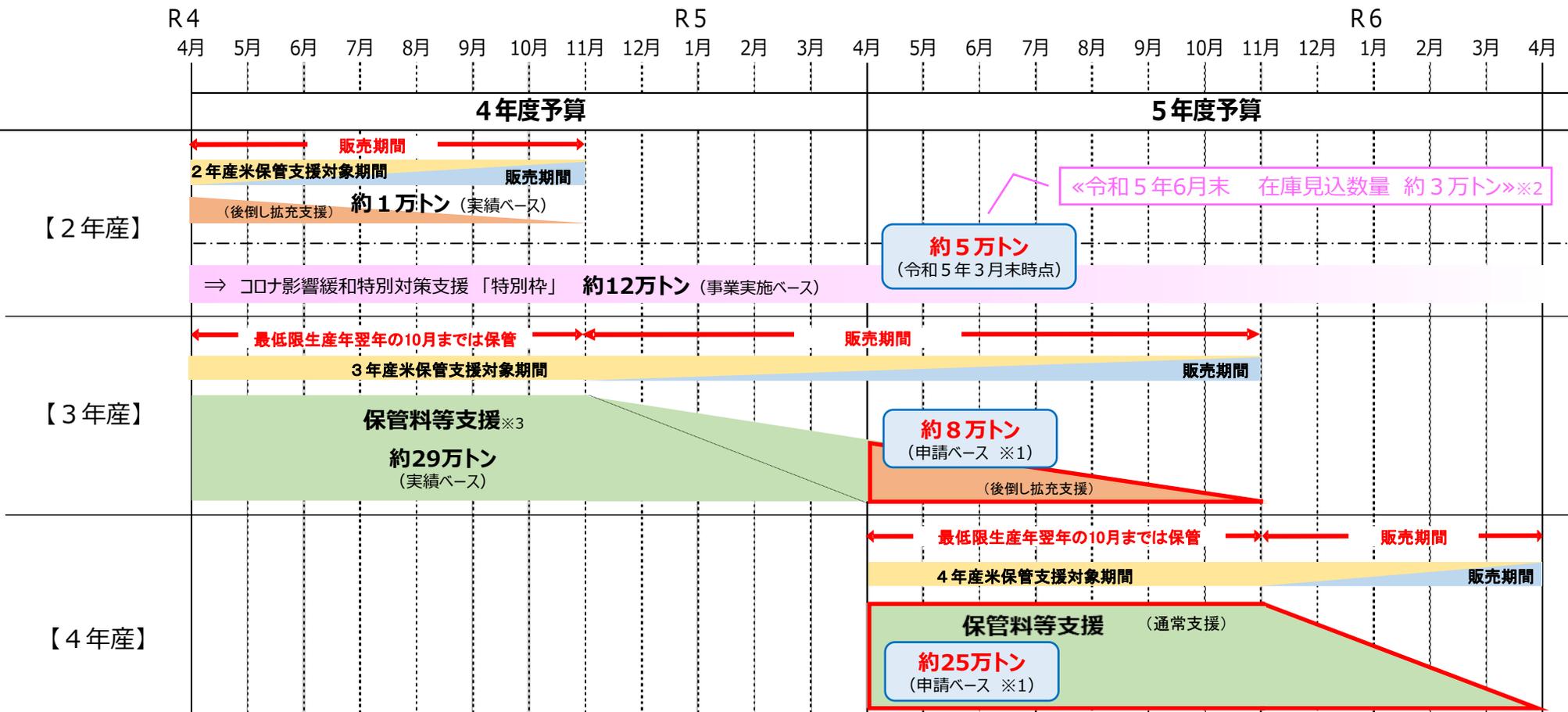
(補助率:定額)

<事業の流れ>



○ 令和5年度の「米穀周年供給・需要拡大支援事業」の長期計画的な販売の取組について1次公募を実施したところ、計36の事業体から応募があり、令和4年産通常支援は約25万トン、令和3年産後倒し拡充支援は約8万トンの申請があったところ。

【保管経費等の拡充支援イメージ】



※1 3年産の後倒し拡充支援及び4年産通常支援の申請数量は、令和5年4月時点の値。

※2 事業実施主体からの申請報告を取りまとめたもの

※3 保管料等の支援対象経費 保管料：米穀の保管経費
 金利：販売時期が遅れることにより増加する概算金支払に係る借入金の支払利息
 集約経費：対象米穀の営業倉庫等への集約運送に要する経費